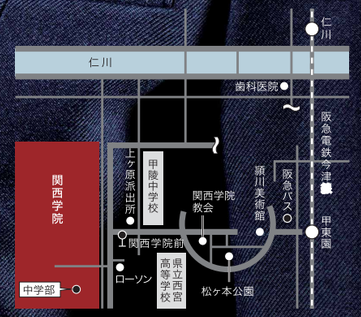
www.kwansei.ac.jp/jh



ACCESS

［大阪・神戸から最寄り駅まで］

▶ 大阪より

阪急電鉄	大阪梅田	15分 神戸線	西宮北口	5分 今津線	甲東園	
JR	大阪	12分 神戸線	西宮（快速停車）			

▶ 神戸より

阪急電鉄	神戸三宮	15分 神戸線	西宮北口	5分 今津線	甲東園	
JR	三ノ宮	14分 神戸線	西宮（快速停車）			

［最寄駅からの所要時間］

阪急電鉄	甲東園	バス5分または徒歩15分
阪急電鉄	仁川	徒歩15分
JR	西宮	バス15分

関西学院中学部
KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

〒662-8501 兵庫県西宮市上ケ原一番町1-155
TEL：0798-51-0988

KWANSEI GAKUIN JUNIOR HIGH SCHOOL

感謝・祈り・練達

"Mastery for Service"

学校案内 2022

関西学院中学部

他者のために、社会のために

“Mastery for Service”

奉仕のための練達

“ Mastery for Service ”
を体現する人材を育成

アジアやアフリカ、南米、シベリアにいたるまで自ら赴き、「世界の奉仕者」として生きた宣教師W.R.ランバスによって約130年前の1889（明治22）年に関西学院は設立されました。1910（明治43）年にカナダ・メソヂスト教会から派遣され、後に第4代院長になった宣教師C.J.L.ベーツが、創設者ランバスの精神を“ Mastery for Service ”という言葉で表現して以来、これが関西学院のスクールモットーになっています。
関西学院は“ Mastery for Service ”（奉仕のための練達）のもとキリスト教主義教育を通して勉学に励み、知識・技能を身につけ、それを用いて隣人・社会・世界のために奉仕する人を育成し続けています。

EDUCATION

関西学院中学部ならではの教育

自分のやりたいことを見つけて挑戦する、
そんな姿勢を身につける教育を推進しています。

»「師弟同行」の精神

「師弟同行」は中学部創設以来の伝統です。先生も生徒とともに学びます。毎日の駆け足やマラソン大会、キャンプでは先生が生徒と一緒に汗を流します。相談を受けた先生は生徒と一緒に考え、目標を達成するまで見守ります。常に生徒とともに歩む姿勢で生徒に接しています。

» 受験にしばられない人間教育

中学部から高等部への進学は推薦制をとっています。一定の学業成績を収め、人物・態度が推薦に値すると判断されれば全員が進学できます。そのため、高校受験にしばられることなく、社会で活躍するためのさまざまな能力を身につけ、豊かな感性を養い、人間性を磨く教育を実践しています。

高等部
推薦入学率 90% 以上

高等部への推薦条件はおよそ以下の通りに定められています。

・建学の精神を体得する。
・出席日数が3分の2以上である。
・1学期、2学期、3学期成績の総平均点が65点以上(100点中)である。
・1学期、2学期、3学期成績の各教科の平均点が55点以上(100点中)である。

「一貫教育」だからできる連携・進路

高等部、大学進学への推薦制をとっています。高等部では大学の授業を受講できるプログラムもあり、キャンプや部活動では、本校を卒業した大学生が指導を支援し、関西学院の精神を伝えます。

初等部 › 中学部 › 高等部 › 大学

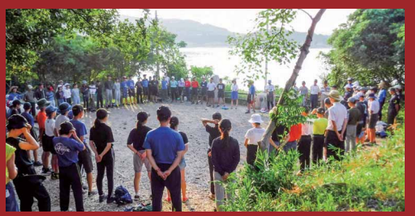
成長段階に応じた教育内容で、
大学まで推薦によって進学できます。

» ICTを用いたアクティブラーナーの育成

全てのクラス教室に電子黒板が設置され、様々な授業で活用されています。図書館、英語科CALL教室、多目的室にはタブレット端末が各50台常備されています。また、クラス教室で使用可能なタブレット端末も70台用意されており、教室での授業に使用することもできます。

» キャンプを通した共同生活体験

新入生オリエンテーションキャンプでは、班ごとに3年生のリーダーがつきます。新入生は先輩と共に過ごすキャンプ生活を通して「中学部精神」を学びます。2年生青島キャンプでは、電気もガスもない無人島で、仲間と協力して自分達の力でキャンプ生活を作り上げます。これらのキャンプを通しての学びもまた、中学部での大切な学びです。



5 LEARNING POINTS FOR "Mastery for Service"

スクールモットーにもとづいた5つの学びで、独自の教育を実現

中学部では、高等部、大学、大学院・専門職大学院まで続く一貫教育の根幹をつくるため、スクールモットーのもと、「キリスト教」「読書」「英語」「体育」「芸術」の5本を柱に教育を行っています。この独自の教育を通して「自分はいかに生きるべきか」を考え、自学自習・自主独立の姿勢を身に着けることを目的に、豊富な知識や探究心、他者への愛を育みます。さらに国際的感覚と外国語運用能力、たくましい身体と精神力、創造力と豊かな感性を習得します。

十 キリスト教
CHRISTIAN EDUCATION

キリスト教主義教育の根幹。さまざまな礼拝や宗教運動から神の愛と人間の尊さを学び「いかに生きるか」をさぐる。 P.09

読書
READING & WRITING

「問う・答える（調べる）・伝える」の学びのサイクルで、課題発見力、考察力、解決力を育み自立した探究者を育てる。 P.11

英語
ENGLISH

日々英語に触れる多読や毎週の英文レポートの作成が、知識だけではない英語で考え、発信する力を鍛える。 P.13

体育
PHYSICAL EDUCATION

毎日の訓練を活かし、マラソン大会や遠泳に挑戦。フェアプレー精神を育み、努力が成功につながる自信を獲得する。 P.15

芸術
ARTS

音楽・美術など、さまざまな分野の作品から得た感動を他者に伝える表現力を育む。 P.17

十 キリスト教

CHRISTIAN EDUCATION

神の愛と人間の尊さを学び「いかに生きるか」を探る

毎朝の礼拝

中学部のキリスト教主義教育の根幹をなします。毎朝、全校生徒と教員が参加し、キリストの教え、神の愛を学び、「いかに生きるか」を考え、勇気と希望を持って生きる者としての成長を促します。

さまざまな礼拝

イースター（復活祭）礼拝、母の日礼拝など特別な礼拝を行っています。中でも聖歌隊の合唱と共にろうそくの灯のみで行うクリスマス燭火賛美礼拝は、年間の中学部の宗教行事のハイライトと言えます。

ボランティア

「人を愛し、人のために尽くす」精神は、関西学院で長年継承されてきたもの。礼拝や宗教運動の話に触発された生徒たちが、インドの農村に井戸や教科書を贈る運動を始め、さまざまな活動を行っています。

宗教運動

年２回、春と秋に開催されます。ゴスペル歌手、被爆体験の語り部の方、大学の先生などを講師に招いての礼拝を実施。テーマをめぐる話し合いをしたり、感想文を書いたり、講演内容の理解を深める機会をもちます。

聖書科の授業

中学部では道徳の授業として、「聖書」の授業が実施されています。聖書を通して、いのち・人権・平和などのテーマについて学びます。他者を尊重し愛すること、多様な価値観を認め共に生きることをキリスト教の教えから深く考えます。

被災地との国際交流

2015年のネパール大震災で被災したネパールの子どもたちに絵手紙を届ける活動、同年の大型サイクロンで被災したバヌアツ共和国への支援物資として、歯ブラシや文房具などを送る活動が今も続いています。

学校生活の基盤となる、建学の精神

CROSS TALK

関西学院中学部 宗教主事
福島　旭

×

関西学院中学部2017年度 3年生
能勢 実祈

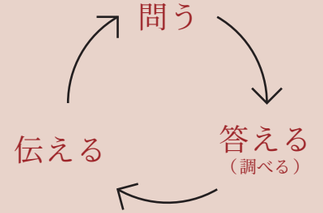
福島：礼拝の時間はどんな意味のある時間ですか。
能勢：様々な方の講話を聴いて、相手のことを知り、先生方と生徒との架け橋になる時間だと思います。
福島：我が校の根幹をなしている「キリスト教」についてどう思いますか。
能勢：礼拝などの学校生活や奉仕活動の基盤となる大切な教えです。私たちが自身の思想や宗教観を形成する良いきっかけにもなっていると思います。
福島：聖書の中で、生活に結びついている、活かしていると思う言葉は何ですか。
能勢：マタイによる福音書６章34節「だから、明日のことまで思い悩むな。明日のことは明日自らが思い悩む。その日の苦労は、その日だけで十分である」です。この言葉で肩の力が抜けて、楽になったことが何度もありました。
福島：印象に残っている講話は何かありますか。
能勢：祖母を認知症で亡くされた先生の話です。私もおばあちゃん子なので、もし祖母から名前を忘れられたら耐えられるかなと色々考えて、祖母を大事にしたいなと思いました。

読書

READING & WRITING

自立した探究者を育てる

「問う・答える（調べる）・伝える」で繰り返す、
学びのサイクル



問う

図書館にある様々な資料を活用して、自分の興味関心を探ります。先行研究の理解や先生との個別相談を経て「問い」が生まれます。

答える（調べる）

「問い」についての参考資料を探索します。先生との個別相談も利用しながら、仮説と論理を立てます。それらをもとに、現地調査も加えながら、「答え」としての必要情報を集めていきます。

伝える

「答え」を「伝える」方法は、レポート、新聞、ポスター、レジュメなどさまざま。これらをもとにして発表（プレゼン）することで、自ら、あるいは他者から疑問が生まれます。新たな「問い」の誕生です。

週1～2回の読書科の授業

読書科は、60年以上も続く中学部伝統の授業です。読書の習慣づけ、図書館の活用や、知識・情報の活用や探究の技術を行事と連携しながら体系的に習得し、学びの集大成として卒業レポートの作成を行います。

さまざまなコンクールに出品

先生の指導も受けながら言語活動に関するさまざまなコンクールに参加し、読書科の授業などで培った言語能力を試します。毎年多くのコンクールで入賞し、絵本の原作が評価され、出版された生徒もいます。

読書カードで読書の習慣化

どのような本を読み、どのようなことを知り、どのように考えたのか。読書カードに書いて、読書の習慣化をはかります。3年間書きためた読書カードは、自らの成長の記録でもあります。

大人になってからも活きる学び

CROSS TALK

関西学院中学部 読書科教諭
河野 隆一

×

関西学院中学部2019年度 3年生
瀬村 有紀子

河野：中学部図書館はどんなところですか？
瀬村：オープンな雰囲気ですね。CDやDVDもあって、ネットも使えます。一人で集中して勉強している人もいるし、友達同士でしゃべってる人も、寝てる人もいます（笑）。待ち合わせにもよく使いましたね。
河野：読書科の授業は、どんな授業でしたか？
瀬村：なんらかのかたちで本を読む授業です。読書が習慣づき、ボキャブラリーも増えたと思います。3年生では1年かけて卒業レポートを作成するので、必要な情報の探し方や著作権の知識などを1年生から学びます。
河野：読書科では、どんなところが大変ですか？
瀬村：今まで知らなかったことや考えたこともないようなことに取り組むのがほんと大変でした。私は『『沈黙』は本と映画ではどのように違うのか」というテーマで卒業レポートを作成したのですが、遠藤周作の『沈黙』を読み解くのにまず苦労しました。
河野：読書科の授業で、どんな力がつきましたか？
瀬村：自分でテーマを決めて、調べて、まとめる力でしょうか。あとその情報が使えるどうかを見極める力。これだけコンピュータやインターネットが発達した時代だからこそ、必要な力だと思います。

英 語

ENGLISH

自分の考えを英語で発信する力を養い、異文化理解を深める

英文レポート作成と日々の「多読」

2年生は「英語で書くこと」、3年生では「論理的に文章を組み立て、説得力のある英文」を書く訓練として、毎週英文のレポートに取り組みます。生徒の習熟度別に合わせて授業時間の10分間で、反復練習と英語運用の基礎的な力を伸ばす「多読」を行い、さまざまなスタイルの英文を書けるように指導します。

英語弁論大会

冬休みには多くの生徒が英語の弁論原稿執筆に挑戦します。優秀と認められた生徒は、その内容を英語弁論大会で発表します。このほか学外の弁論大会や兵庫県の暗唱大会にも学年を問わず本校の生徒が参加しています。

ティーム・ティーチング授業

日本人教員とネイティブ・スピーカーの教員が協力して指導する「ティーム・ティーチング」を導入。これにより、「英語を母語とする人の特有の表現」を学び、日本人がつまずきやすい点の克服を図ります。

諸外国・地域との交流活動

海外の学校の生徒と文通をして互いの国について調べて、その内容を元にプレゼンテーションを行います。自分の英語が通じるかどうかを確認するとともに、同世代との交流を持つ機会になっています。

2020年度 実用英語検定試験合格者実績

	1年生	2年生	3年生
3級	42	83	38
準2級	12	38	60
2級	1	6	11
準1級	0	1	0

（2020年度在籍生徒の合格実績）

実用英語検定試験

最終目標を一般生徒は3年生で英検2級もしくは準2級、帰国生は英検1級相当の実力を身につけることとし、実用英語検定試験の受験、希望者を対象に模擬面接など試験対策の支援も行います。

楽しんで英語を学べました

CROSS TALK

関西学院中学部 英語科教諭
塚本 真理

×

関西学院中学部2019年度 3年生
山口 乃亜

塚本：入学前、英語の授業は不安でしたか？

山口：はい。英語が得意な子ばかりのハイレベルな授業でついていけないかも、と不安でしたが、実際は基礎から丁寧に教えて貰えて安心でした。

塚本：授業を通して、成長を実感できましたか？

山口：ネイティブの先生のフレンドリーさもあり、「私も英語で返せるようになりたい！」と簡単なやりとりからスタートして、3年生になる頃には日常会話を英語で楽しむことができました。

塚本：英語部での経験について、教えてください。

山口：顧問の先生の誘いで、兵庫県私立中学校第15回英語レシテーションコンテストに出場しました。英語は好きでも自信はなく、「思い出作り」のつもりで参加を決めましたが、顧問の先生や、他の英語科の先生方のご指導もあり、優勝することができました。他にも校内英語弁論大会で2位を受賞するなど先生方には成長のチャンスをたくさん与えてもらいました。

塚本：英語部での一番の思い出は何ですか？

山口：文化祭での英語劇です。部員みんなで協力して一から作り上げた劇が「最優秀ステージ団体賞」に選ばれ、嬉しさのあまり涙が出ました。頑張ってよかったと思える、最高の思い出です。

体 育

PHYSICAL EDUCATION

フェアプレーの心を育み「できる」自信を獲得する

3年間
1人平均
900km

週4日の駆け足

水・土曜日を除く平日の7時間目に、毎日3km以上を目標にした駆け足を全員参加で行っています。当初は1km、2kmしか走れなかった生徒も、次第に持久力と体力が向上し、走れる距離が伸びていきます。

海での遠泳
1,000m

遠泳

青島キャンプで行います。最初は数メートルしか泳げなかった生徒も、日ごろの訓練で泳ぎ切れるようになり、自信へとつながります。コースに教員・大学生リーダーを配置するなど安全にも留意しています。

男子
10km
女子
7km

マラソン大会

日ごろの駆け足運動の成果を発揮するのがマラソン大会です。毎冬に武庫川の河川敷で開催します。「30位入賞を狙う」「完走をめざす」など、生徒一人ひとりが自分の目標を決めて参加します。

体育大会

体育大会の準備は2・3年生が担当。学年を越えた1～3年生でチームを組み、さまざまな種目で競います。激しくぶつかりあう競技もありますが、フェアプレーの精神と安全管理のもとで実施しています。

保健体育の授業

総合的な体づくりのために、陸上競技・器械体操・球技・武道・水泳などさまざまな種目のスポーツを行います。これらを通してスポーツマンシップやフェアプレー、チームプレーを学びます。

心肺蘇生法の授業

２年生の保健体育の授業で、心肺蘇生法を学びます。心臓突然死についての知識を、養護教諭や医療関係者のアドバイスのもとに学びます。その上で、全員が専用キットを使用してAEDの使い方や胸骨圧迫の実習をします。

体育を思いっきり楽しんでほしい！

CROSS TALK

関西学院中学部　保健体育科教諭
山道 修平

×

関西学院中学部2017年度 3年生
江田 政紀

山道：学期ごとに週3回・3種目の授業をおこないましたが、どのように感じていましたか？

江田：曜日によって種目が変わるおかげで、苦手な種目もいつも新鮮な気持ちで取り組めていました。逆に、好きな種目であるサッカー・ソフトボール・卓球の学期は最高でした！

山道：施設については、どのような印象ですか？

江田：室内プールは雨風も関係なく、とても快適で、人工芝のグラウンドは、雨の翌日でも泥を気にせず、思いっきり走ることができました。

山道：体育の授業で一番嬉しかったこと、また授業を通して得られたことを教えてください。

江田：サッカーで友達と息が合ったプレイが出来たこと、苦手なマット運動などで練習を重ねて成功できたときは嬉しかったです。何事も逃げずに努力することの大切さを学びました。

山道：体育の授業で得た経験を、今後どのように活かしていきたいですか？

江田：大人になってもスポーツを続け、健康に生活していきたいです！

芸術

ARTS

自分を表現できる喜びと感動できる心を育む

演劇コンクール

文化祭ではクラス対抗の演劇コンクールも実施されます。演劇の経験がない生徒たちが脚本の執筆から配役、使用する音楽、照明などの効果のすべてを自主的に行います。総合芸術である演劇を通して、一つの劇を作り上げる過程で自分の得意なことを見つける機会にもなっています。

音楽コンクール

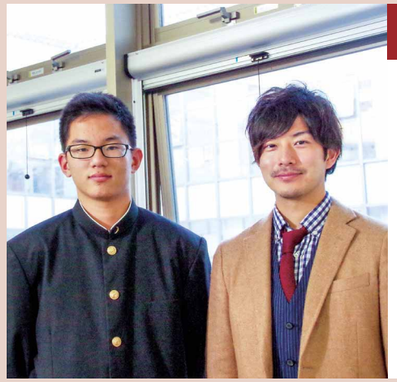
文化祭の最初に行われる、各学年クラス対抗の音楽コンクール。指揮者、伴奏者、パートリーダーの生徒を中心に、練習を繰り返し、本番では美しい合唱を披露します。一生懸命に取り組む大切さを実感し、クラスの絆を深めます。

美術展

文化祭の美術展では、生徒全員の作品を展示。友人や先輩、後輩の作品を鑑賞し、感想を聞き、新たな目標を発見します。3年生制作の最優秀ポスターは文化祭パンフレットの表紙になります。

芸術鑑賞会

さまざまな芸術にふれる機会として、年に一度芸術鑑賞会を行っています。学内外で演奏や伝統芸能を鑑賞します。プロの芸術や生の表現から得られる感動は、生徒自身の表現活動へとつながる貴重なものです。



一人ではできないことを、みんなで作り上げる

CROSS TALK

俳優・2004年関西学院中学部卒　連続テレビ小説『べっぴんさん』『マッサン』　映画『太秦ライムライト』『デスノート Light up the NEW world』などに出演

小堀 正博

小堀：最優秀演技賞受賞おめでとう。練習の時から順調だったのですか。

前田：いえ。脚本ができるまでが大変でした。先生の脚本へのダメ出しが厳しくて…。でも、その時の悔しさがクラスのみんなに火をつけたと思います。

小堀：個性的な演技だったけど、自分で考えたのですか。

前田：総監督や演技指導のクラスメイトが、歩き方やちょっとした仕草まで案を出してくれました。裏方のクラスメイトの支えがあったから、僕は演技を楽しめました。

小堀：道具、衣装、照明、音響も演劇には欠かせません。一人ではできないことをみんなで作り上げることで、「Mastery for Service」の精神を体感できますね。僕はそれをきっかけに役者になったけど、将来、どんな仕事に就いてもこの経験は役に立つでしょうね。

前田：はい。いい経験になりました。

小堀：これからも後輩たちがどんな演劇を作り上げるのか楽しみにしています。

関西学院中学部2017年度 3年生
演劇コンクール最優秀演技賞

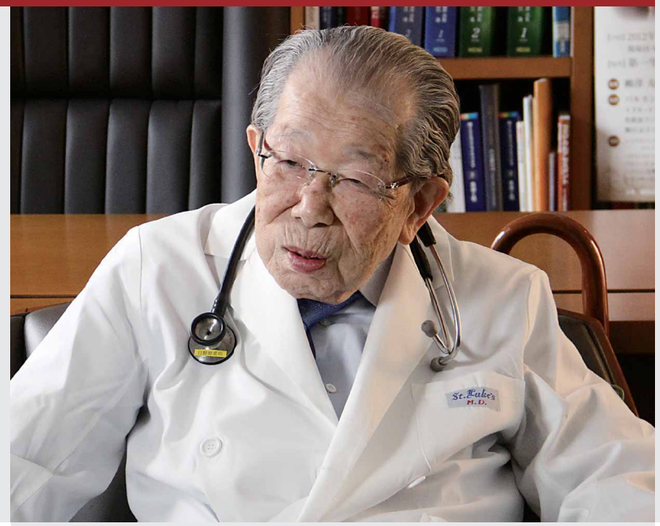
前田 龍一

MESSAGE FROM GRADUATES 卒業生の言葉

1929年中学部（旧制）卒　日野原 重明
聖路加国際病院名誉院長
（2017年7月18日没）

関西学院で学べたことに感謝しています

関西学院の聖書の時間に学んだ「善きサマリヤ人」のように、医者として人種や年齢を超えて、病む人のために生涯をささげるのが私の務めであると考えています。そういう意識、そういうスピリットが、中学部の間に私に植え付けられたのではないかと思っています。医者でありながら世界中で宣教活動や教育に従事したランバス先生をはじめ素晴らしい先生方によって支えられてきた関西学院で学べたことに感謝しています。



2016年中学部卒
三宅 紗矢
関西学院大学経済学部３年生

自分に自信がついた中学部での３年間

読書科の授業で学んだ、情報のまとめかた、レポートの書きかたは高校生活でも役立ちました。また、中学部図書館の多くの海外書籍やDVDも、高等部でニュージーランドに留学するきっかけになりました。吹奏楽部では、苦しいことも多くありましたが、地道な取り組みと感謝の気持ちが、誰かにしっかりと届いていることを知りました。また、新入生キャンプのリーダーを務めて、後輩達に感謝されたことが大きな自信になりました。

2015年中学部卒
片山 理咲子
関西学院大学国際学部４年生

中学部で培った英語の力と感謝の気持ち

共学一期生のため、身近に見本となる先輩がいない難しさがありましたが、当時の部長をはじめ先生方が、周囲に感謝し、何事にも自分が率先して取り組む模範を示してくれました。また、英語科のさまざまな状況を想定した授業が印象的で、英語を使うことが楽しくなり、将来はCAになるのが夢です。英語を生かして、誰かに笑顔を与えられる人になりたい。これは、リーダーとして参加した青島キャンプでも感じることができました。

1996年中学部卒
橋本 直
吉本興業株式会社所属
漫才コンビ「銀シャリ」メンバー

中学部に入ってなかったら、たぶん芸人やってないです

中学部の生徒はみんな自立していて意識が高かったので、「えー、もうそんなこと考えてんのや？」と思うことが多かったです。積極的に活動したり、何かにめちゃくちゃ詳しかったり。そんな生徒達が互いに「オモロイやつやん」と個性を尊重していて、非難したり排除したりしない。それで、自分も堂々と自分の個性を主張できるようになったんかなと。中学部に入ってなかったら、たぶん芸人やってないですね（笑）。

1973年中学部卒
薄井 修司
株式会社ウエルネスサプライ
代表取締役社長

人生の根幹を形成する場になった中学部

中学部は、私にとって自分の生き方の根幹を形成した場になりました。仲間と助け合うキャンプやメチャビー、日々の礼拝など、学校生活を通して自然と“ Mastery for Service ”というスクールモットーが浸透していきました。特に、先生方が何事にも親身になって対応してくれたことが大きかったです。同じく中学部で学んだ息子にも、関学の精神がしみ込んでいると思います。これからも社会のため、人のために務めたいと考えています。

2007年中学部卒
笹山 大生
株式会社毎日放送（MBS）
東京支社スポット営業部勤務

野球部時代の“ 縁の下の力持ち ”精神を忘れずに

中学部の野球部で過ごした３年間が一番の思い出です。バントという、地味ながらもチームにとっては必要な仕事にやりがいを感じて頑張りました。今では番組ディレクターとして、自分が編集したVTRを視聴者に届けていますが、野球部時代の「縁の下の力持ち」精神は忘れていません。「野球部」から、「番組」というチームに変わっても、自分の立場を考えて行動するということは、当時から何も変わりません。

1995年中学部卒
城戸 武洋
独立行政法人国際協力機構
（JICA）モロッコ事務所勤務

良き師・友・先輩に出会える学びの場

中学部での学びを通じて「海外の困っている人のために尽くしたい」という思いを持ち、関西学院大学で途上国の開発を学んだほか、民間企業や海外大学院で経験を積み、現在、途上国の経済・社会開発を支援する仕事に就いています。部活動やキャンプに、卒業生である関西学院大学の学生が参加してくれるのが中学部の魅力だと思います。良き先生や友人、先輩と出会える環境の中で、自分の将来をじっくりと考えてみてほしいと思います。

独自の学習環境

SYSTEM OF LEARNING

自律的な学習者を育てるカリキュラム

受験勉強に縛られない本校では、生徒主体の探究型学習が多くの教科で実践されています。教科の特性や生徒の成長段階に応じて、問題や課題を自ら発見し、解決のための手段を探る経験を重ねていきます。

カリキュラム

	1年生	2年生	3年生
国語	4	5	5
社会	4	4	4
数学	5	4	5
理科	4	4	4
音楽	2	1	1
美術	1	2	1
保健体育	3	3	3
技術家庭	2	1	1
英語	6	6	6
読書	1	2	2
聖書	1	1	1
HR	1	1	1
計	34	34	34

＊数字は平常授業における週当たりの時間数（適宜、特別授業あり）

図書館・ICTを活用した授業

中学部専用の図書館には、70,000冊を超える本、20タイトル以上の雑誌、1,000枚を超えるCD、DVDなどの資料のほか、Webに接続できるパソコン50台とタブレット端末50台を用意しています。また館内Wi-Fiに持ち込み端末を接続することもできます。
学校が契約している様々なデータベースも活用でき、豊かで深い探究型学習に取り組むことができます。

全てのクラス教室に電子黒板が設置されており、画像や映像資料を共有したり電子ペンを利用したりするなど、教科の学習内容に応じて活用されています。また、Webを通しての学習支援アプリを利用し、自宅から課題を提出することもあります。

アクティブラーニング型授業

技術科の授業では「創造アイディアロボットコンテスト」に出場するためのロボットを設計図なしに設計・製作します。与えられるのは部品と競技ルールのみ。生徒だけで試行錯誤しロボットを作り上げ、競技に挑みます。この取り組みで、本校は全国大会の常連校となっています。
また、読書科の授業では全員が卒業レポートを作成します。多くの資料をあたり、自分の意見をふまえて論理的なレポートとしてまとめあげます。さらに、卒業レポートをスライドにまとめてプレゼンテーションすることで、相手によりよく伝えるための方法も実践を通して学びます。

関西学院中学部生の1日

毎日の礼拝や、週4回の駆け足、創設以来続く「師弟同行」をモットーに規則正しい生活の中で、高い情操と、受験にとらわれない自由な教養を身につける。そんな中学部生の1日を紹介します。

メリハリのある
楽しい学校生活

高木 直大
中学部 2020年度 3年生

勉強はもちろん、日頃の駆け足や部活動では楽しみながら体力をつけています。お昼休みも体育館やグラウンドでスポーツをして体を動かしていることが多いです。下校後は、学校の課題に取り組んでから自分の時間にするようにメリハリをもって過ごしています。

校内生活時間表

	月・火・木・金	水	土
出席点呼	8:20		
授業開始	8:25		
1〜3時限			
昼休み	11:30		11:30 授業終了
4〜6時限	15:30 月・火・木・金曜日の7時限目は全校駆け足の時間です	15:50	
7時限終了	2月〜10月 18:00 11月〜1月 17:30		16:00
下校完了			

08:20 までに登校

阪急甲東園駅または阪急仁川駅から、徒歩で登校。

08:25　授業（1時間目）

09:20　礼拝

最も大切している祈りの時間。毎朝、全校生徒と教員が参加します。

09:50　授業（2時間目）

10:45　授業（3時間目）

11:30　昼食

HR教室や中庭、食堂で友人と弁当や学食を食べてすごします。

12:20　授業（4時間目）

13:15　授業（5時間目）

14:10　授業（6時間目）

15:05　全校駆け足

週4日、3km 以上を目標に、全校生徒と教員も参加で実施。

15:40　終礼・放課後

多くの生徒がクラブ活動や生徒会活動に参加しています。

18:00　下校

冬期は17:30、土曜日は17:00 下校となります。

キャンプ

CAMP

野外での共同生活を通して「勇気」と「献身」を体験する

中学部教育における大きな特徴の一つがキャンプです。助け合いの気持ちと自立心、困難に立ち向かう精神力などを養います。1年生は入学式直後に行われる新入生オリエンテーションキャンプ、2年生は夏休みに青島キャンプに参加します。ともに学ぶ仲間と非日常の環境の中で生活することによって、普段の生活がいかに恵まれているものかを知るとともに、みんなのために汗を流すことの尊さを体験します。

1年生

千刈キャンプ（新入生オリエンテーションキャンプ）

入学式直後に実施 新しい友人とともに共同生活

1年生は中学生活の第一歩として新入生オリエンテーションキャンプに参加します。場所は三田市の関西学院千刈キャンプ場、2泊3日の日程で、新しい仲間たちと共同生活を行います。キャンプには新3年生と大学生のリーダーが同行し、新入生は先輩の姿を間近に見ながら関西学院精神を学びます。泥まみれになりながらラグビーをする「メチャビー」で、泥をかぶりながらゴールをめざす「勇気」や、ボールを持った仲間をサポートする「献身」を体験します。

体験プログラム

- 開会・閉会礼拝
- 野外炊さん
- メチャビー
- キャンドルライトサービス
- クラス旗作成
- キャンプデューティー（キャンプ場内の片づけ）　ほか

2年生

青島キャンプ

無人島で自分たちの力で過ごす 4泊5日の「中学部の成人式」

2年生が体験する青島キャンプは「中学部の成人式」と呼ばれています。電気もガスも水道もない瀬戸内海の無人島・青島で、仲間とともにテントの設営から火起こし、食事づくり、草刈り、トイレの清掃、生ごみの処理まですべて生徒たち自身で行います。キャンプという不便な生活のなかで日々の生活の豊かさに感謝し、自主的な行動の大切さや集団で生活する意味などを学びます。失敗を恐れず挑戦する姿勢を育み、身も心もたくましく成長する大事な行事です。

体験プログラム

- テント設営
- 全体ワーク（島の開拓）
- 遠泳（1km）
- 班別自由行動
- カウンシルファイヤー
- キャンプデューティー（島内を自然の状態に戻す）　ほか

国際交流

INTERNATIONAL PROGRAMS

世界に視野を広げ、世界のために貢献できる資質を養う

日本とは違う国・地域の文化や歴史、人、社会を理解し、偏見を持たずにお互いを尊重する姿勢を育むことを目的に、インドへの親善訪問旅行や英語圏への研修旅行を実施。英語の上達だけでなく、生徒の視野を世界に広げる機会となり、これからの時代に欠かせないグローバルな精神を養い、将来、世界のために貢献することができる資質を身に付けます。

3年生

インド親善訪問旅行

長い歴史を持つインド親善訪問 世界の課題を考える機会に

1983年から毎年、夏休みに3年生を対象としたインド親善訪問旅行を行っています。当初は生活基盤の援助活動を目的でしたが、現在は農村部や都市部の訪問や現地でのホームステイなどを通して異文化に触れ、交流を深めることを目的にしています。経済発展が著しいインドで、現実の状況に触れ、世界で何が起きているのか、どのような課題があるのかを考える機会になっています。

3年生

オセアニア英語研修旅行

英語力の向上と異文化理解を目的に 英語圏の国・地域の生活を体験

夏休み期間中、3年生を対象に毎年開催される研修旅行。語学力の向上と異文化理解を図り、英語圏の国・地域を訪問しています。2014年度からニュージーランド・クライストチャーチ市にあるミドルトン・グレンジ校で、日本文化を英語で紹介するプレゼンテーションやホームステイ、寮生活、現地での農業体験などを通して、現地の子どもたちや住民の方々と多様な交流を図っています。

印象的だったのは、前向きに暮らす人々の姿

福永 彩乃
中学部
2019年度 3年生

冷暖房の効いた教室で勉強し、お腹いっぱいご飯が食べられる私達の日常が、世界では「当たり前」でないことを目の当たりにしました。家族と遠く離れて生活し学校に通う子、お肉が食べられないほど貧しい生活の中にある子にも会いました。インドにおける貧富の差には衝撃を受けました。しかし、最も印象的だったのは、彼らが皆とても明るく前向きに生活していたことです。現地に足を運んだからこそ得られる学びがたくさんありました。

CLUB ACTIVITIES

クラブ活動

自分のやりたいことに チャレンジできる環境を整備

中学部には「宗教総部」「文化総部」「運動総部」の3種類のクラブ活動があります。卒業生の大学生がコーチとして指導することも多く、技術面や、世代が異なる人とのコミュニケーション、マナーも学びます。さらに人工芝グラウンドや室内プールなど、関西学院が所有する施設・設備を利用できることも大きな魅力です。

運動総部

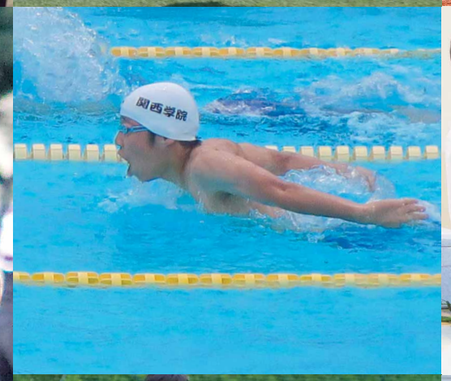
- ●タッチフットボール部（男子）
- ●バスケットボール部（男子・女子）
- ●バレーボール部（女子）
- ●陸上競技部（男子・女子）
- ●水泳部（男子・女子）
- ●サッカー部（男子）
- ●野球部（男子）
- ●テニス部（男子・女子）
- ●剣道部（男子・女子）
- ●卓球部（男子・女子）
- ●ラグビー部（男子・女子）
- ●ダンス部（男子・女子）

文化総部

- ●美術部
- ●図書部
- ●グリークラブ（合唱部）
- ●吹奏楽部
- ●理科部
- ●英語部

宗教総部

- ●J.H.C.（宗教部）
- ●聖歌隊



ANNUAL EVENTS

年間行事

豊かな人間性や自主性、独立心を育む各種行事を実施

中学部では多彩な学校行事を行っています。自分の内面や生き方に向き合う宗教的行事、文化祭や体育大会、文芸コンクールやマラソン大会、校外学習などを通して新たな気づきを得たり、自分の個性を発揮したりしています。

文化祭

5日間にわたり準備・発表が行われる、中学部の一大イベント。展示発表や演劇・ダンスのステージ、出し物、全校生徒の作品を展示する美術展などが行われます。

4 APRIL

- 入学式
- 新入生オリエンテーションキャンプ
- 始業式

5 MAY

- 健康診断
- 母の日礼拝
- 新入生歓迎体育大会
- 春季宗教運動
- 人権教育講演会
- 中間試験

6 JUNE

- 教育実習
- 花の日礼拝

7 JULY

- 期末試験
- 防災訓練
- 期末特別行事
- 終業式
- 3年生海洋冒険キャンプ

8 AUGUST

- 3年生インド親善訪問旅行
- 3年生英語圏への研修
- 2年生青島キャンプ

9 SEPTEMBER

- 始業式
- 国数英課題試験
- 文芸コンクール
- 創立記念日

10 OCTOBER

- 中間試験
- 秋季宗教運動
- 人権教育講演会

11 NOVEMBER

- 文化祭
- 3年生修学旅行
- 1・2年生校外学習
- マラソン大会

12 DECEMBER

- 期末試験
- 球技大会
- クリスマス燭火賛美礼拝
- 終業式

1 JANUARY

- 始業式
- 入学試験

2 FEBRUARY

- 日本語弁論大会
- 英語弁論大会
- 3年生学年末試験

3 MARCH

- 1・2年生学年末試験
- 卒業式
- 映画会
- 大掃除
- 終業式

校外学習・修学旅行

校外学習では、事前学習をもとに生徒だけで奈良の遺跡や寺社を見学します。修学旅行では九州各地を訪れ、卒業レポートの現地調査や平和学習を行います。

生徒会活動

STUDENT COUNCIL ACTIVITIDE

体育大会や弁論大会などの学校行事について生徒会役員を中心に実行委員会を組織し、企画・運営に参加。このほか近隣の清掃活動、骨髄バンクキャンペーンなどの奉仕活動も行っています。

中学部のリーダーとして

横山 大輔
中学部 2020年度 3年生
生徒会会長

生徒会では、学校行事の企画・運営をはじめ、挨拶運動など様々な活動を行います。自分たちの企画に生徒のみんなが賛同してくれた時や、活動を通して中学部生全体に影響を与えることができることに、やりがいや誇りを感じています。これからも会長として見本となる言動を心掛けながら、中学部をひっぱるリーダーとして努めたいと思います。

学校生活への質問

FREQUENTKY ASKED QUESTIONS

Q1 共学化しましたが、男女比はどうなっていますか？

A1 男女比は約5：3で構成しています。入試もこれを前提とし、一般入試の募集定員は男子約90名、女子は約50名となっています。

Q2 登下校はどのようなルートになりますか？

A2 阪急電車を利用する生徒は、最寄の甲東園駅か仁川駅から徒歩で通学します。また、西宮北口・ＪＲ西宮方面からの登校についてはバスの利用を認めていますが「一ヶ谷町」か「愛宕山」で下車し、そこから徒歩で通学します。中学部生の自転車通学やバスの使用は原則認めていません。

Q3 携帯電話やスマートフォンの扱いはどのようになっていますか？

A3 学校に持ってくることは認めていません。また、学校としてはＳＮＳの利用などは推奨していません。

Q4 昼食はお弁当を持参するのですか？

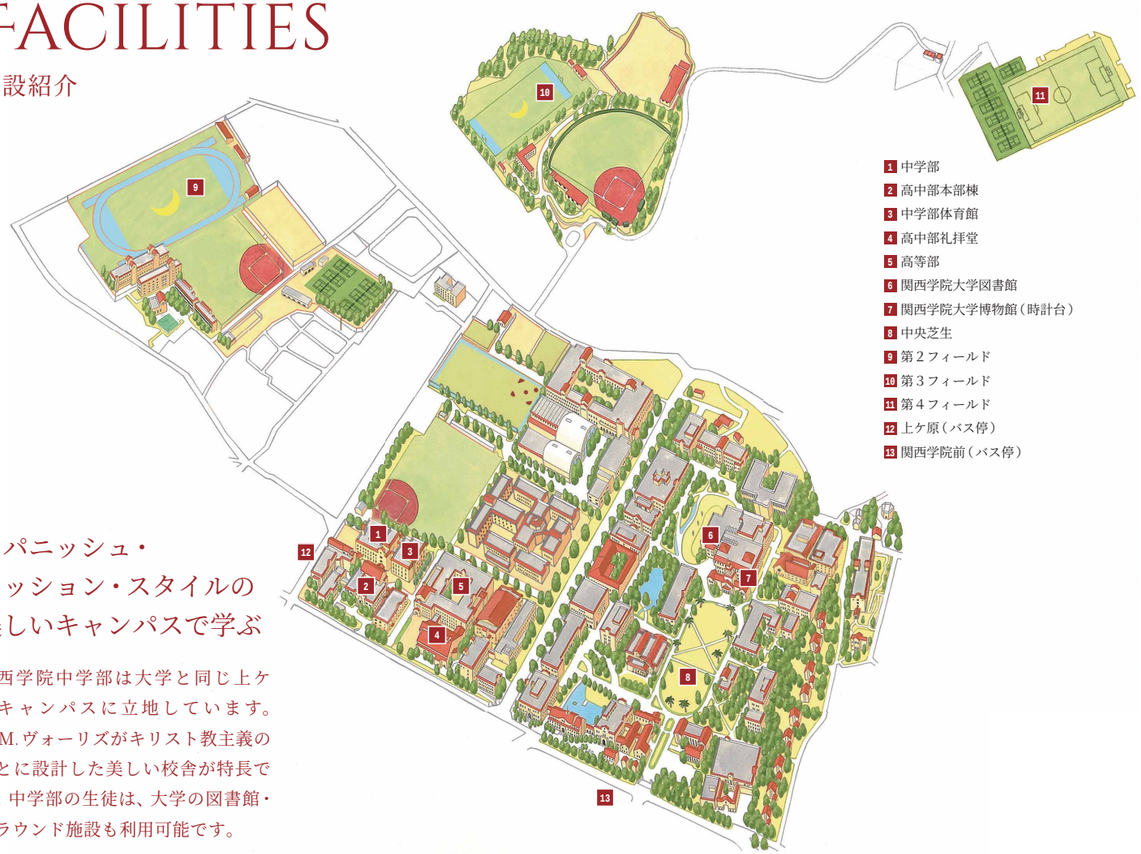
A4 入学当初はお弁当持参ですが、「食堂利用の方法」を学年で指導したあとは食堂利用も可能です。成長期の栄養バランスを考慮し、中学部生は「ヤングランチ（430円）」を食べるルールになっています。それに加えて食堂内のパンショップで軽食を購入することもできます。

Q5 制服や体操服以外の制定品はありますか？

A5 制服や体操服以外に制定品はありません。通学カバンは華美なものでなければ自由です。通学の際の靴は、黒色の装飾のない革靴（タッセルやヒールは不可）か黒色の運動靴（靴紐や靴裏もふくめて黒一色のもの）と定められています。

FACILITIES

施設紹介



1 中学部
2 高中部本部棟
3 中学部体育館
4 高中部礼拝堂
5 高等部
6 関西学院大学図書館
7 関西学院大学博物館（時計台）
8 中央芝生
9 第２フィールド
10 第３フィールド
11 第４フィールド
12 上ケ原（バス停）
13 関西学院前（バス停）

スパニッシュ・ミッション・スタイルの美しいキャンパスで学ぶ

関西学院中学部は大学と同じ上ケ原キャンパスに立地しています。W.M.ヴォーリズがキリスト教主義のもとに設計した美しい校舎が特長です。中学部の生徒は、大学の図書館・グラウンド施設も利用可能です。

中学部棟

2011年完成した新校舎。ヴォーリズ建築の形式を受け継いだ建物です。3階建てで、普通教室、中学部図書館、教員室、理科階段教室、理科実験室などがあります。

ＨＲ教室（中学部棟1～３階）

すべての教室にプロジェクターと電子黒板を設置。授業の理解度を高めます。

中学部図書館（中学部棟1階）

蔵書数７万冊を超える中学部専用の図書館。パソコンやタブレット端末も利用できます。

中礼拝室（高中部本部棟2階）

10,000人を超える卒業生の氏名が刻まれた銅板が生徒を見守ります。

高中部本部棟

1933年、関西学院の上ケ原移転に際して建てられた、ヴォーリズ建築の名作です。

温水プール（体育館地下）

体育館の地下1階にあるプール。季節・天候に左右されず泳ぐことができます。

中学部グラウンド（人工芝）

クッション性の高い人工芝で、雨の影響や怪我を心配せず思い切り運動ができます。

高中部礼拝堂

1,200人収容のチャペルで、全校生徒が日々祈りをささげます。映像・音響設備も整っています。

第２フィールド

陸上競技場、ラグビー場（人工芝）、テニスコート（オムニ６面）

第３フィールド

本格的なアメリカンフットボールグラウンドで、クラブ活動などで利用されています。

大学図書館

蔵書数200万冊を超える、国内有数の大学図書館。中学部生も利用できます。

SCHOOL UNIFORM

制服紹介

キリスト教主義に基づく人間教育を実践するというメッセージを込めた品格ある制服を採用。男子生徒の冬服は伝統を受け継ぐ黒の詰襟で、襟には三日月の襟章をつけます。一方、女子生徒の制服（冬服）はジャケット、ジャンパースカートなどを着用します。夏服は男女ともに規定のポロシャツを中心に構成しています。

関西学院について

創立者

W.R.ランバス

Lambath, Walter Russell
(1854-1921)

アメリカ人宣教師W.R.ランバスは1886年に伝道の責任者として来日。1889年、キリスト教主義教育による人間教育を実践するために関西学院を創設し、その後も、国境や民族の壁を超え、世界市民（World Citizen）としての一生を送りました。

第四代院長・初代学長

C.J.L ベーツ

Bates, Cornelius John Lighthall
(1877-1963)

1920年に第4代院長に就任。「私達が主たらんと欲する真の意味は、自分の一個の富を求めるだけではなくて、それによって世に仕えるためなのである」として、“Mastery for Service”（奉仕のための練達）を提唱。現在も学院全体のスクールモットーとして受け継がれています。

新制中学部初代部長

矢内 正一

Masaichi Yanai
(1900-1984)

1947年、戦後の新制中学部初代部長となった矢内正一は、以後18年間現在の中学部の礎を築きました。イギリスのパブリック・スクールを教育の理想とし、中学部を学問と精神、身体を自己鍛錬する場として、中学部教育の支えとなる駆け足、読書教育などさまざまな取り組みを実践しました。

院長・中学部長メッセージ

MESSAGE

関西学院の歴史と共に歩む誇りを胸に

関西学院創立時（1889年9月28日）に開校した普通学部を前身とする中学部は、関西学院130年の歴史と共に今日までその豊かな歩みを続けています。普通学部のシンボルであった「新月」は、90年前の上ケ原キャンパス移転時にC.J.L.ベーツ第4代院長によって制定されたエンブレムにも刻まれ、現在は関西学院の校章として時計台から日々キャンパスで学ぶ人々を見守っています。「新月」がやがて豊かな光を放つ「満月」へと変化するように、豊かな成長への無限の可能性を秘めた中学生時代、関西学院の歴史を自らが紡いでいるという誇りを胸に、多くの出会いと学びの中で良き歩みを続けられることを心より祈っております。

関西学院 院長　舟木 譲

学院キャンパスで一生の友と出会う

正門を入ると、うつむきかげんに座る少年像があります。1933年、海で溺れた従兄弟を助けるために自らの命を投げ出した白木真寿夫さん。「友のために自分の命を捨てること、これより大きな愛はない」という聖書の言葉に生きた関西学院中学部の先輩です。
仲間や隣人を心から大切に思うこと。キリスト教に基づくこの精神こそが、その人自身を真に生かしめ、豊かな人生の礎となると考えています。緑豊かなキャンパスで一生の友と出会い、切磋琢磨し、共に成長していくフィールド。それが関西学院です。

関西学院 中学部長　藤原 康洋

校章の意味

1894（明治27）年に制定された、三日月の校章。この校章は、「今は不完全な私たちですが、新月がやがて満月となっていくように絶えず向上していきたい」という願いを表しています。また、月は自ら光を放つのではなく、太陽の光を受けて暗い夜を照らしています。「私たちも神の恵みを受けて、世の中を明るく照らしていきたい」。そんな願いも込められています。

PTA・校友会活動・同窓会

関西学院後援会

関西学院の学生・生徒・児童の保護者によって設立され、関西学院の教育目的を達成するため、関西学院の教育・研究活動および正課・課外活動の活性化や、保護者とのコミュニケーションの推進と緊密化を目的とした事業などを行います。

同窓会

母校を誇りに思う卒業生が、世代を超えて集う同窓会。関西学院全体の同窓会活動に加え、中学部同窓会が単独で行う活動も積極的に実施しています。同じ学び舎で学び、現在は国内外で活躍する同窓生が有形・無形の支援を行います。

PTA

生徒・教員・家庭の三者の協力と信頼関係を重視する中学部において、PTA活動は重要なものとなります。各種学校行事への参加や、年3回の「PTAだより」発行、学期ごとのPTA集会やクラス集会など活発に活動しています。

友情によって紡がれた関学ファミリーの基盤

中学部同窓会にはすべての中学部卒業生が登録され、現在では１万人を超える大規模な同窓会になっています。各学年で行われている活発な同窓会に加えて、５年に一度合同同窓会が行われ、80歳を超える第１回生をはじめとして60学年以上の卒業生が一同に集まり、盛大な式典が行われます。次回は2022年９月に中学部創立75周年記念の合同同窓会が開催される予定です。母校愛に満ち溢れる卒業生はそれぞれが友情によって横に紡がれ、中学部同窓会ではさらにその友情を縦に紡いでいきます。今やその繋がりは日本中に広がり、世代や職業の壁を越えて「関学ファミリー」の基盤を形成しています。

中学部同窓会長　水野 明人

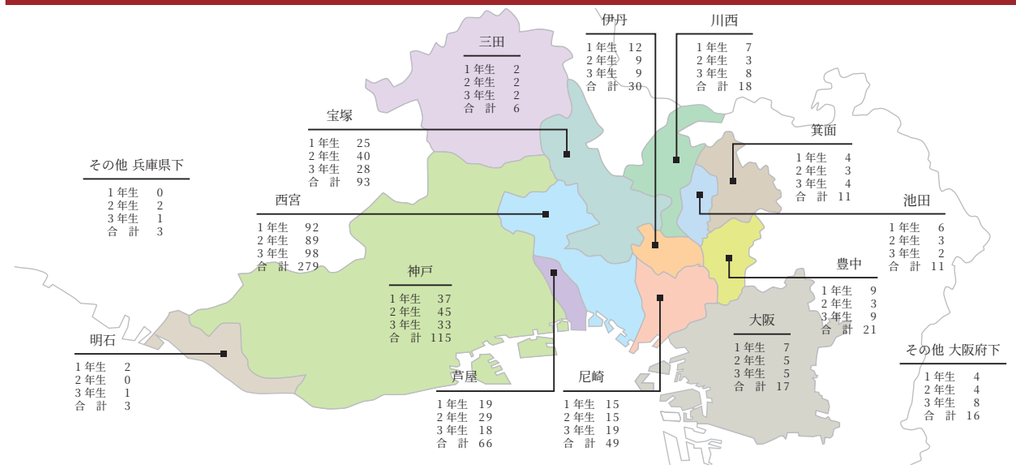
入試データ・奨学金制度

ENTRANCE EXAMINATION / SCHOLARSHIPS

在籍生徒数（2021年4月現在）

1年生 243名　2年生 252名　3年生 245名　合計 740名

在学生の地域別数



入学試験（2021年度）

		①受験者・合格者		②科目別受験者平均点			③合格者最高点・最低点	
		受験者	合格者	国語（200点）	算数（200点）	理科（100点）	最高点（A:500点)(B:410点）	最低点（A:500点)(B:410点）
A日程	男子（募集人数65名）	183	78	135	142	59	440	358
	女子（募集人数35名）	125	46	148	150	60	454	385
B日程	男子（募集人数25名）	174	44	129	132	—	361	307
	女子（募集人数15名）	131	30	145	138	—	370	328
帰国生	（募集人員若干名）	5	4	—	—	—	—	—

		志願者・合格者	
		志願者	合格者
初等部推薦入試	男子	35	35
	女子	45	45

卒業生

［中学部卒業生の進路］

	2019年3月	2020年3月	2021年3月
卒業生数	236	236	239
関西学院高等部	208	223	228
関西学院千里国際高等部	5	0	0
他の高校等	23	13	11

［高等部卒業生および関西学院大学進学状況］

		2019年3月	2020年3月	2021年3月
卒業生数		380	377	369
関西学院大学	神学部	0	1	0
	文学部	24	25	28
	社会学部	50	50	50
	法学部	21	44	20
	経済学部	70	70	70
	商学部	70	75	75
	理学部	28	16	2
	工学部	0	0	12
	生命環境学部	0	0	4
	建築学部	0	0	6
	総合政策学部	28	21	17
	人間福祉学部	18	18	25
	教育学部	18	9	15
	国際学部	25	24	25
合　計		352	353	349

●他大学合格状況　2021年（現役）：神戸大学・兵庫医科大学・大阪大学・上智大学・神戸薬科大学・国際基督教大学・東京工芸大学・東北大学

学費（2022年度分）

入学手続時のみの納入金	
入学金	200,000
同窓会入会金	2,000
生協出資金	12,000
	214,000 a

学費・諸費	1年分	初回分納金
授業料	635,000	
教育充実費	249,000	
図書購入費	6,000	
生徒会費	10,000	
PTA会費	15,000	
後援会費	3,000	
教材等前納金	70,000	
旅行費積立金	55,000	
	1,043,000	358,000 b
PTA継続事業費	10,000 c	

●学費・諸費は入学手続時および9月、12月の3回に分納していただきます。
●入学手続時納入金額：a+b+c＝582,000円
■関西学院教育研究等振興資金募金：30万円以上を入学後任意でお願いすることになります。

奨学金制度

関西学院では、経済的な理由により学ぶことをあきらめざるを得ない生徒がいないように願っています。そのためにいろいろな奨学金を用意しています。

①関西学院高等部・中学部支給奨学金
年間授業料の1/2

②関西学院高等部・中学部貸与奨学金
第1種　年間学費（授業料＋教育充実費）の2分の1
第2種　年間学費（授業料＋教育充実費）の3分の1
第3種　年間学費（授業料＋教育充実費）の4分の1

③関西学院高等部・中学部特別支給奨学金
年間授業料の全額

入試概要（予定）

出願資格　2022年3月小学校卒業見込の者
検定料　20,000円
出願期間　生徒募集要項に記載

一般入試（A日程）

	午前			午後
	60分	60分	45分	
2022年1月15日（土）8:30～15:30頃	国語 200点	算数 200点	理科 100点	面接

■ 募集人員　約100名（男子：約65名　女子：約35名）
■ 合格発表　2022年1月16日（日）～1月18日（火）
本校Webサイト掲載

一般入試（B日程）

	午前	
	60分	60分
2022年1月18日（火）8:30～12:00頃	国語 200点	算数 200点

※A日程を受験した者には、合計点に10点を加算する。
■ 募集人員　約40名（男子：約25名　女子：約15名）
■ 合格発表　2022年1月19日（水）～1月21日（金）
本校Webサイト掲載

帰国生入試

	60分	60分		
2022年1月15日（土）8:30～13:00頃	国語	算数	英語 面接	保護者 同伴面接

■ 募集人員　若干名
■ 合格発表　2022年1月16日（日）～1月18日（火）
本校Webサイト掲載

①小学校中高学年における海外での在住年数が2年以上の者で、現地校もしくはインターナショナルスクールに在籍していた者が望ましい。
②原則として、事前に部長または副部長との面談が必要です。

KWANSEI GAKUIN
JUNIOR HIGH SCHOOL
INFORMATION

文化祭　予約不要

11/3（水・祝）　9:00～15:00

■ 個別相談コーナー（対象：小学校4年生以上）を設置します。

学校説明会　要予約

第1回 午前の部　6/26（土）9:30～12:00

第1回 午後の部　6/26（土）13:30～16:00

■ 対象：小学校4年生以上、保護者同伴
■ 6月1日（火）より、本校ウェブサイト上で申し込み受付を開始（応募多数の場合は抽選）
■ 学校紹介、施設見学、入試説明などをおこないます。（午前・午後とも同じ内容です）

第2回　9/18（土）9:10～11:40

第3回　10/2（土）9:10～11:40

■ 9月1日（水）より、本校ウェブサイト上で申し込み受付を開始（応募多数の場合は抽選）
■ 全校礼拝への参加、学校紹介に加え、実際の授業や施設も見学していただけます。（2回とも同じ内容です）

※ご来校の際には公共交通機関をご利用ください。
※今後の新型コロナウイルス感染動向、あるいは気象警報発令などの緊急事態により、やむをえず変更や中止にする場合があります。その場合は、速やかに本校ウェブサイトで周知します。ご了承ください。

生徒募集要項（入学願書）
2021/9/18（土）より配布

www.kwansei.ac.jp/jh